

会議録	
会議の名称	平成26年度清須市地域公共交通会議第1回専門部会
開催日時	平成26年10月8日(水)午後2時から3時20分まで
開催場所	清須市役所本庁舎 3階大会議室
議題	1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1)清須市地域公共交通網形成計画の骨子案について (2)コミュニティバス利用促進策について 4 閉会
会議資料	会議次第、配席図、委員名簿 資料1 地域公共交通網形成計画の策定について 資料2 地域公共交通に関する住民アンケート調査について 資料3 地域公共交通網形成計画の骨子案について 資料4 コミュニティバス利用促進策について 参考資料 清須市地域公共交通戦略
公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由)	公開
傍聴人の数 (公開した場合)	0名
出席委員	前田(繁)委員、小澤委員、山田委員、伊藤委員、加藤(榮)委員、加藤(博)委員、古橋委員(代理)、葛谷委員
欠席委員	多田委員、古田委員
出席者(市)	なし
事務局	(企画政策課) 河口企画政策課長、忠内副主幹、岡田係長、小出主査、鶴田主任
会議録署名委員	伊藤委員、加藤(榮)委員
1 開会 ●小出主査 定刻となりましたので、只今から、平成26年度清須市地域公共交通会議第1回専門部会を開会致します。 私は、企画部企画政策課の小出と申します。本日の進行を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します。 本日もご出席頂きました専門部会委員の皆様のご紹介についてですが、事前にお送りさせて頂きました名簿をもって紹介に代えさせていただきます。 また、会議の進行についてですが、要綱で部会長等の定めがございません。従いまして、地域公共交通会議同様、前田会長に取り回しをお願いさせて頂きたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。	

[異議無しの声]

ありがとうございます。「異議無し」のお声を頂きましたので、前田会長にお願いしたいと思います。

それでは会議に先立ちまして、前田会長にご挨拶を頂きたいと思えます。よろしくお願ひします。

●前田会長

只今、事務局の取り回しにより、委員皆様のご了解を頂き、今回、専門部会の議事進行を務めさせて頂きます。何かと至らない点もあるかと思えますが、よろしくご協力をお願いして挨拶に代えさせて頂きます。よろしくお願ひ致します。

●小出主査

ありがとうございます。続きまして、本日の会議の出席状況について報告致します。

本日の欠席委員につきましては、名古屋タクシー協会の多田委員、愛知県バス協会の古田委員の2名でございます。

また、愛知県交通対策課の古橋委員におかれましては、磯谷様に代理でご出席頂いております。

それでは、これより議事に入りますが、ここで、議事運営につきまして、お願ひを申し上げます。

会議での発言方法についてですが、会議で発言して頂く際には、必ず、挙手をお願ひ致します。会長の指名を受けた後、係の者がマイクをお持ち致しますので、その際、ご自身のお名前を仰って頂き、ご発言して頂きますよう、よろしくお願ひ致します。

それでは、この後の議事進行は、会長にお願ひ致します。

●前田会長

それでは、これからは私の方で会議の取り回しをさせて頂きます。

始めに、会議録署名委員の指名をしたいと思えます。本日の会議の会議録署名委員は、座席順に伊藤委員と加藤榮子委員にお願いしたいと思えますのでよろしくお願ひ致します。

議事に入りますが、本日は議事が2件となっております。それでは、議事(1)の「清須市地域公共交通網形成計画の骨子案について」を、事務局からご説明をお願いします。

議事(1)について事務局から説明

●前田会長

ただいまの事務局からの報告に関しまして、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

[特に無し]

では、ご質問も無いようですので、この議題について地域公共交通会議副会長である加藤先生からご講評を頂きたいと思います。よろしくお願いいたします。

●加藤副会長

名古屋大学の加藤です。資料にも記載がある通り、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が11月中旬に施行されます。

それに対応して、清須市地域公共交通総合連携計画の見直しの時期でしたので、新しい法律に基づいた形成計画を策定することになりました。策定のポイント等も資料に記載のある通りで、変更する必要がある箇所についてはきちんと資料に書いてあります。

また、今までの施策の総括や反省、それに基づいてどう変更していくかもきちんと記載することになりました。

それから、以前お話したかもしれませんが、今は清須市地域公共交通戦略と清須市地域公共交通総合連携計画の二つの計画があり、この二つの計画は国土交通省が定めています。

今回策定する地域公共交通網形成計画は、自治体の計画なので自治体の好きなように書けば良くて、国に言われた通りに書く必要はありません。ただし、国の示す要件に沿って計画を策定しなければなりません。そうであるならば、清須市には二つの計画がある必要はありませんので、一つの方が分かりやすいので統合して一つにすることになりました。

懸念されることは、現在の地域公共交通総合連携計画が、あしがるバスの個別計画になっているのではないかということです。

これは、国がかなり気にしていて、地域公共交通網形成計画は、あしがるバスの個別計画ではなくて、清須市の地域公共交通全体の計画となるものです。ですから、市内には駅が10箇所もあるとか、名古屋市営バスの古城バス停があることも書きます。広域性の話ですと、あま市が平成27年3月にコミュニティバスの運行を開始するとか、稲沢市が今年の11月4日に新市民病院開院に伴って、新しい路線に切り替えるとか、近隣自治体にも色々な動きがあります。もちろん、名古屋市営バスも何か動きがあるかもしれません。そういうことを踏まえて清須市としてどう対応していくかということも一応検討する必要があります。計画に必ず盛り込む必要はありませんが、検討する必要があります。

あとは数値目標です。何を目指してあしがるバスや公共交通を考えていくのかです。地域公共交通網形成計画期間の5年間で、1年目にはこれをして、2年目にはこれをして、3年目にはこれをする、といった具体的なスケジュールをある程度決めていく。地域公共交通網計画がそのような中身になっていますので、是非この専門部会はもちろん、地域公共交通会議委員、あるいは他にも関係される方々に広く意見を聞いて頂いて、市全体で形成計画を策定していきましょう。

●前田会長

ありがとうございました。それでは、他にご質問もないようですので、これにて議事(1)を終わりたいと思います。

続きまして、議事(2)「コミュニティバスの利用促進策について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

議事(2)について事務局から説明

●前田会長

只今の事務局からの説明に関しまして、各委員さんからご意見、ご質問等がありましたらお願いします。

●山田委員

山田です。私の町内の寿会で、あしがるバスに乗ったことがある人が何人いるのか聞きました。寿会全員で100人くらいの中での話ですが、乗ったことがある人は10人くらいしかいませんでした。

また、「あしがるバスを知ってみえますか」と聞くと、大体皆さん知ってみえます。「なぜ乗らないのか」と聞くと「目的地まで時間が掛かり過ぎる」「ヨシヅヤに行くにもかなりの時間を掛けないと行けない」「もっと早く運行すれば便も増やせるのではないか」とのお話を頂きました。

現在、色々な停留所がありますが、それぞれの乗降数は把握してみえますよね。例えば、「グリーンルートの停留所を一つずつ飛ばして走るなど時間を短縮しないと利用したくない」とのお言葉が皆さんから出ます。現在は、停留所は約300m間隔ですが、それを600mくらいにするようなことも考えていかないとはいけません。現状で満足するのではなく、より多くの方に乗って頂くためには何かしっかりと検討していかないとはいけないのではないかと思います。

●岡田係長

今のご意見についてですが、現在のルートは片道1時間ほど掛かっております。確かにヨシヅヤに買い物に行かれる方につきましても、到着してから帰りの便までの時間が約2時間あります。それについて、当課にご意見を頂戴することもございますので、利便性を向上させる必要があることは承知しております。

バス停設置等も含めて、皆様の要望に可能な限りお答えしていきたいと考えております。今回は、バス停を飛ばすことでの運行時間の短縮、運行便数の増加というご提案として承りまして、次回のルート・ダイヤ改正の折には検討させて頂きたいと思っております。

●伊藤委員

伊藤です。資料4の利用促進策の方向性についてですが、国会の答弁みたいで、「実施したい」や「検討したい」という言葉が非常に多いと感じます。利用促進策を検討する時間があまり無かったのかもしれませんが、もう少し、どういう方向で検討するのか具体的な項目が出ていた方が分かりやすいのではないかと思います。

解決するにしても、どういう方向で解決を図っていくのか、検討するにしてもどのように検討するのかをもう少し明らかにされた方が分か

りやすいのではないかと思います。

●岡田係長

利用促進策の方向性につきましては、事務局の方でメリット・デメリットを考慮した中で、全ての要望について、出来る限り実現していく方向で考えております。可能・不可能の選択が難しい中で、このように記載をさせて頂きました。まずは、すぐに実現可能であるものということで、先程ご説明した次の日曜日、10月12日に開催される「清洲城信長まつり」への参加を具体的な案としました。その他につきましても、随時実現させる方向で検討していきたいと思っております。その中で、先ほどお願いさせて頂いたように、この資料にある内容に加味して皆様からのご意見が頂ければ幸いです。

●加藤(榮)委員

加藤です。少し前の山田委員のお話とも重なる議題ですが、あしがるバスには、目的地に到着するまでとにかく時間が掛かるという悪いイメージがあります。現在は、ルート・ダイヤが大幅に改正されて、ヨシヅヤには30分ほどで行けますし、始発のバスに乗れば十分に買い物をして、またバスで帰ってくることもできます。すごく便利になっているのに、乗ったことが無い方は、1時間も2時間もバスに乗っていないと行けないイメージがあります。しかし、現在はかなり便利になりましたので、まずは、とにかくバスに乗ってもらって、便利になったことを実感してもらうことが先決であると思います。

また、乗り継ぎは便利なのですが、バスが同じバス停に何台も何回も一緒に停まっている光景は、乗らない人にはすごく不愉快みたいです。利用している方はとても便利に使ってみえますが、まだまだ、このバスは皆さんに周知されておられません。

バスのPRについてですが、現在のバス停の時刻表の裏側は空白ですので、歩行者が目につくように、バス停の裏側に、例えば「バスを利用して桜を見に行こう」のような広告を掲載してバスのPRはできませんか。そうすれば、少しでも多くの方に乗って頂けるのではないかと思います。とにかく乗ってもらうことが先決です。とても便利なバスであっても乗っていない方にとってはすごく不便で役に立たないバスだと思っているみたいです。よろしくお願いします。

●岡田係長

まず、最初のお話の中で、バスが一か所に停まっているというのは、ヨシヅヤのバス停で乗り継ぎのために集まっていることだと思います。それについては、ダイヤの関係でどうしても集中してしまいます。

また、バス停の広告の新しいご提案については、検討させて頂きたいと思います。

●加藤(榮)委員

乗り継ぎのために停まっていることをどこかに書いて頂くと良いですね。だから、あのバスが停まっているということが分かります。乗っ

た事が無い方は、見ただけの事しか分かりませんので、何か検討しないといけないと思います。今後は乗り継ぎのためにバスが集まっているということを分かってもらえると良いと思います。

●前田会長

その他、委員さんよろしいですか。

●伊藤委員

伊藤です。清須市広報紙にあしがるバスのためのスペースを少し頂いて、前年同月比の利用者数を掲載することはできませんか。

前月比ですと、季節的変動がありますので、前年同月比だと比較する意味があるのではないのでしょうか。ルート別で前年同月比を掲載するスペースがあっても良いのではないかと思います。

●岡田係長

利用者数の変動を広報紙に掲載することは、提案として承ります。

しかしながら、利用者数の数値だけでは、バスのPRに繋がるのかどうか分かりかねますので、利用者数に併せて図書館等でのイベントを掲載するなど検討させて頂きたいと思います。

●前田会長

その他、委員さんよろしいですか。

●加藤(榮)委員

加藤です。来年はひつじ年なので、粗品等に羊の絵とあしがるバスのPR文と一緒に書いて配布するのも一つの手だと思います。

また、小学校の新入生にあしがるバス無料券を5枚くらい配るのはお金が掛かりすぎて無理でしょうか。そうすると親子で乗って頂けます。

バスに実際に乗ってもらわないとバスの良さは分かりません。例えば、「サクラルートを使えば、オレンジルートやグリーンルートに比べて短時間で目的地に行くことができ買い物ができる」ことをPRした方がより多くの方に乗って頂けるのではないかと思います。

●岡田係長

ありがとうございます。未就学児及び親御さんの乗降数などを踏まえて検討させて頂きたいと思います。

●小澤委員

小澤です。以前ツジ薬局のチラシに、あしがるバスで来られた方はレジで100円引きになると書かれていました。そのようにバスの運賃を負担しているような企業を把握されていますか。

●岡田係長

事務局では、現在、把握しておりません。

●小澤委員

ツジ薬局に、この制度について、「どのくらいの利用者があったのか」や「今も続けているのか」などを問い合わせ、もし効果があるようでしたら、他の商業施設や病院にもそのような需要があるかもしれませんので調べて頂きたいと思います。

また、回数券などを作って、前もって10冊以上買って頂いた企業には裏面に簡単な広告を掲載すると、企業としてもPRになるので良いのではないかと思います。

●岡田係長

ツジ薬局に確認させて頂きたいと思います。

●前田会長

その他、委員さんよろしいですか。

[特に無し]

それでは、ご意見も無いようですので、この議題についても加藤副会長から講評を頂ければ幸いです。

●加藤副会長

皆さんの話を聞いていて思ったのは、バスの使い方が理解されていないということです。どのようにバスを利用すれば便利であるのかが分かりづらいようです。具体的に言えば、まず何時の便に乗ってヨシヅヤに行くと買い物できる時間が何分あって、帰りは何時のバスに乗れば効率よく帰れるのか、そういったモデルを示す事は結構重要です。ヨシヅヤに行く場合はこんなモデルで、図書館に行く場合はあそこで乗り継いで行くと良いとか、或いは名古屋駅に行くために、枇杷島駅で降りてどのように行くのかなど、そういったモデルコースを地区ごとに何種類か作って周知することはどうかと思います。

また、高齢者向けや家族向けのコースなどがあってもよいでしょう。このようなことを行っている自治体は全国に結構あります。グリーンルートで図書館に行くときは乗り継ぎが必要ですが、乗客が考えるのが面倒なので、予めこちらから例示してあげるとよいかと思います。乗り継ぎが必要であることが分かると、他の目的地に行く方法も調べると思います。

それから、多く見られるのが、行きはダイヤを調べて行って、帰りはタクシーや友人の車で帰るパターンです。行きだけはバスに乗ってもらうのも良いと思います。

従って、まずはバスで出かけさせるようなPRが必要なのかなと思います。ターゲットは高齢で運転の出来ない方、また子どもも意外と狙いどころです。愛知県の取り組みでもある「バスの乗り方教室」を幼児や児童、高齢者などを相手に行うとよいかと思います。乗り方が分からない方やどの便に乗ったら便利か分からなくて乗らない方もいらっしゃるのでは、それを解消するようなチラシを作ったらどうでしょう。

全国では利用促進に関して、色々な案があります。チラシの左側に乗り方を書いて、右側に地区別おすすめスポットなどを書いて、それに沿って出かけると特典が付いてくるような方法も良いのかなと思います。目的別案内や乗り方教室は、最近かなり広まっています。乗りたいけど分からなくて怖いから乗れない方に集中的にPRする。「自分で時刻表を解説して乗って下さい」というのは今ではあまり通用しません。高山市では、バス会社が毎月自主的に広告を作成していました。お金はあまり掛からないので、やれることは全てやったら良いと思います。

また、バスは目的地に早く着くからよい訳でも無いです。バス車内で居心地が良い、友達と話が盛り上がっている場合など、時にはもう少し長く時間が掛かってくれれば良いと思うときもあります。一刻も早く目的地にたどり着きたい方は、自動車に乗れば良いと思います。スローライフという言葉がありますが、車内で寝てもよいし、読書をしてよいし、しゃべってもよいし、ゲームをしてよい。自動車を運転していたら出来ないことです。逆に、1回100円でそれだけ出来れば十分であることをPRする。

あと、帰りの運賃を割引く方法として回数券があると便利です。バスで来られた方にバス乗車証明書のようなものを発行し、それをお店で見せると帰りの乗車券を渡す方法です。ある市では、回数券150枚を10,000円で販売しています。お店などで配布する専用の回数券です。1枚当たり70円くらいになりますので若干お得です。

今回の利用促進策の照会でも、委員の皆さんに斬新な意見を出して頂いて、そこから出来る事はやっていけば良いと思います。

●前田会長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

●小澤委員

小澤です、加藤副会長にお聞きしたいのですが、ホームページ上で乗り換え案内を色々なシステム会社が作っていますが、その中に自治体が発注して、自治体に合った乗り換え案内を作る会社を見たことがあります。それを活用している自治体はあるのでしょうか。

例えば、名古屋駅から清洲城へ行くときに、どういったら一番良いのか、バス、鉄道を含めてルート検索できるようなシステムを開発しているのでしょうか。

●加藤副会長

そのシステムは、例えば、「駅すばあと」や「ジョルダン」ですとか色々な検索ソフトがあります。あれらについては、情報会社がコミュニティバスについて、積極的に情報が欲しいと言っています。私も何社か訪問させて頂いて話したことがあります。あれは会社に情報提供を受けているのではなく、自分達で情報を集めているのだそうです。

従って、JR、名鉄、名古屋市交通局などは利用が多く検索される可能性が高いので、自分たちで情報を集めています。その一方、清須市のコミュニティバスは、検索されることが少ないので情報収集は最後にさ

れています。ところが、こちらからデータを提供すると、情報会社は喜んでもらっていきます。中部運輸局の方でそれを支援する制度があり、現状の時刻表を検索サイトに適した形に実費で変換する仕組みがあります。それを使えば検索サイトに掲載することができます。

二つ目の方法は、自分達で検索サイトを作る方法です。しかしながら、中部運輸局の支援制度を活用すれば、メンテナンスも必要ありませんし、データを渡すだけです。自前で作るより中部運輸局の支援制度の方が良いのかなと思います。

例えば、私の理想に近いのは、豊田市が行っている公共交通のホームページです。現在、豊田市は駅前で実験を行っています。小さい一人乗りの電気自動車の「コムス」が何台も置いてあり、登録すると借りられます。

例えば、豊田駅からどこか目的地に行きたいと検索すると、バスだと何分、タクシーだと何分、コムスだと何分、レンタサイクルだと何分、というように、全ての公共交通が検索されてくるという素晴らしいシステムがあります。ただし、これは経費が相当掛かるので、豊田市だから出来る制度です。清須市も、将来的にはそういうことが出来ると良いと思います。

●小澤委員

「ジョルダン」等に頼んで検索システムを作って頂いた場合に、清須市のホームページに上に検索ボックスを付けることはできますか。

●加藤副会長

もちろん可能です。まず、申し上げたようにデータ提供に関しては、むしろ情報会社がお金を払いたいくらいなので、掲載してもらうのに清須市は全くお金はいりません。情報会社が清須市のホームページに検索ボックスを作っても良いぐらいで、情報会社が広告料を払ってもやりたいくらいだと思います。ただし、清須市として、市のホームページ上に民間企業の検索ボックスを載せることへの情報セキュリティ上の問題はあります。

●小澤委員

今は、中学生や高校生でもスマートフォンを使います。そういった中学生や高校生は自動車の運転免許が無いですから、例えば、図書館に行きたいときにスマートフォンで検索して、ここに住んでいるからこういう方法があると簡単に分かれば、運転免許の無い若い人の需要まで発掘出来ると思います。

●加藤副会長

小澤委員のおっしゃる通りです。私の長男が中学1年生ですが、友達と旅行に行く時は、スマートフォンを持っている友達がバス停の時刻表などを検索する。今はスマートフォンに喋るだけで検索結果が出てくる時代です。そういうときに「駅すぱあと」や「ジョルダン」に掲載されていれば、スマートフォン版とパソコン版はデータが同じですから検索

して出てきます。

もちろん、清須市のホームページから調べる方もみえると思いますのでそちらの方で作っておくのも良いと思います。

逆に言うと、スマートフォンで検索して出てこないものは無いも同然です。出てこなかったら、清須市にコミュニティバスは無いと思われてしまうし、それをツイッターやブログなどに書かれて拡散してしまう。

逆に、よくツイッターやブログなどを書いている10人くらいの高校生や大学生を雇って、実際に検索してバスを使ってもらい「検索したら便利だよ」とツイッターに書いてもらうといった方法があります。マイナス情報は書かずに、自身が本当に良いと思ったバスの情報を書いてもらうことで、検索で出てくるようになると、急にコミュニティバスの利用が増えるかもしれません。

●前田会長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

●加藤(榮)委員

加藤です。今までのサクラルートは清須市の端の方まで行ってしまったので、運行にすごく時間が掛かっていました。そのイメージが未だに抜けていません。

ですから、何かのついでに「今のサクラルートはヨシヅヤまで30分で行けますよ」というPRを絶対にしないといけないと思います。サクラルートは時間が掛かるというイメージがものすごく強いので、バスのルートが変わったということは普段乗車される方や関係者以外は分かっていません。サクラルートは、便利であることをすごく強調しないといけません。

●前田会長

ありがとうございました。本日は公共交通会議の指導的立場にある、愛知県交通対策課の磯谷様がおみえですので、何かご意見がありましたらお願いしたいと思います。

●磯谷委員

本日は、委員の古橋が欠席しておりますので、私が代理で参りました。

先ほど加藤副会長のお話にもありましたが、バスの乗り方教室は県内の様々な地域で行われております。

例を挙げますと、加藤副会長が学識経験者として会議に参加されている東浦町では、幼稚園や保育園で園児にバスの乗り方を教えるのに併せまして、愛知県交通対策課で公共交通と車を賢く使い分けるエコモビを推進しておりますので、そちらの推奨もしております。

子どもは乗り物が好きですので、バスに親しみを持って家に帰り、またバスに乗りたいと言えば家族でバスを利用してもらうことが出来ます。バスを身近なものとして親しんでもらえれば将来の利用者にもなりますので、子どもの頃からバスに親しんでもらうという意味でも、乗り方講座を検討して頂くとよいかなと思っております。

●前田会長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

●山田委員

山田です。今、磯谷委員が言われた通り、子どもはすごくバスに乗りたがります。私の孫も乗りたがりますが、未就学児ですので一人では乗れません。早く小学生になって一人で乗れたら良いのにと思いました。

さて、資料3に具体的な骨子案が書いてありますが、これを見ますと色々な整備や計画が書いてあります。各計画について、「⑤達成状況の評価に関する事項」に「P D C Aサイクルを具体的に記載」とありますが、サイクルの期限を決める必要があるのではないのでしょうか。

ただ、地域公共交通網形成計画に書くだけでは、P D C Aサイクルが回っていないということになりませんか。

●岡田係長

今のご質問ですが、P D C Aサイクルの期限を決めることは必要だと思います。

資料1の「5 形成計画の位置付けについて」をご覧頂くと、一番下に「生活交通ネットワーク計画」と記載があります。こちらは1年に1回ずつ評価をしております。この生活交通ネットワーク計画も踏まえて地域公共交通網形成計画の策定を考えたいと思っておりますので、基本的には1年ごとに評価を進めていきたいと思っております。

●前田会長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

●伊藤委員

伊藤です。「清洲城信長まつり」のチラシについてですが、「清洲城へのアクセス」にJ R、名鉄、城北線は書いてありますが、あしがるバスの案内がありません。

こういったチラシに少しずつでも載せていくとP Rになるのではないかと思います。今後ご検討願いたいです。

●岡田係長

伊藤委員のおっしゃる通り、今後はイベント所管課と相談しながら、チラシ等に掲載するよう努めて参りたいと思えます。

●前田会長

ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

[特に無し]

ご質問も無いようですので、ここで議事(2)を終了と致します。

以上で、本日予定されておりました議事は全て終了致しました。皆様に

は長時間、慎重に審議を賜りまして、どうもありがとうございました。
確認のために本日の議事2件について、事務局から報告をお願いします。

●岡田係長

本日は、議題2件をご協議頂きましてありがとうございました。

地域公共交通網形成計画につきましては、本日お示しした骨子案に沿って計画素案の作成を進めて参ります。

また、利用促進策につきましても、本日色々ご意見を頂戴致しました。別に、机上にご照会文書を置いております。皆様にご回答頂いた後、次回の会議で利用促進案としてご協議を賜りたいと思っております。

引き続き計画素案につきましてもご協力を賜りたいと思っております。よろしくお願い致します。ありがとうございました。

●前田会長

ありがとうございました。それではこれもちまして、平成26年度清須市地域公共交通会議第1回専門部会を閉会致します。

本日はどうもありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

2 閉会（午後3時20分）

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線1222
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 前 田 繁 一

署名委員 伊 藤 益 臣

署名委員 加 藤 榮 子